

# 高砂市の先輩職員にインタビュー



財務部 市民税課  
椿野 純也

## ◇ある日の一日

- 8:00 出勤
- 8:30 朝のミーティング
- 8:40 窓口応対等
- 12:00 昼食
- 13:00 照会文書回答等
- 15:30 課税資料入力等
- 17:30 退庁
- 17:45 帰宅
- 19:20 夕食
- 20:00 入浴
- 21:00 自由時間
- 23:00 就寝

## ○高砂市の職員になったきっかけは？

民間企業に勤め、約8年間大阪で生活するなかで、地元高砂市に強い愛着を持っていることに気が付いたことがきっかけです。受験当時は堺市に住んでおり、高砂市同様に祭りが盛んな地域で生活するなかで、次第に地元思いを馳せるようになりました。ちょうどその頃、SNSで高砂市が採用活動を行っていることを知り、志望しました。

## ○現在の仕事内容

市民税課に配属され、主として窓口業務をこなす傍ら、他市からの公的照会の回答、個人市民税・県民税の賦課（課税事務）などを行っています。確定申告の時期には、住民の方々からの申告相談を受け付けています。

## ○仕事のやりがいや魅力

市政は歳入がなければ運営できません。市民税課はその歳入を取り扱う部署であり、自らの業務が市の財政に直接関係していることに、大きな責任感とともにやりがいを感じます。

## ○民間企業との違いについて

民間企業では、継続的に経営し収益を増大させることが最優先課題であるのに対して、市の職員では求められることが異なります。ステークホルダーのみではなく、全体の奉仕者としての行動が求められますので、より多角的に物事を視る必要があります。

## ○受験者へメッセージ

肩肘張らずに自然体でチャレンジしてください。

